



地域一番の歯科医院を目指しています。

19号

山本歯科医院通信～「おだいじに」～

2006年4月号

この「おだいじに」では最新の歯科の話題や、皆さんが普段疑問を持たれている事柄等についての情報を提供したいと思っております。こんなこと聞いてみたいな、あれってどうなんだろう？そんなことがあればどんどんリクエストしてください。バックナンバーも受付にあります。



～今号のトピック～

～お子さんをむし歯にさせないために～

1. むし歯の原因となる細菌の多くは、乳幼児期に家族から感染します。

むし歯の原因となる細菌は、生まれたばかりの赤ちゃんには存在しません。それらの多くは、主に母親などの家族から乳幼児期に感染することが分かってきています。特に奥歯のはえ出す1歳半ころから2歳半くらいの時期に感染することが最も多いといわれています。**「噛み与え」は要注意です。**

2. むし歯を作る細菌

歯は体の中でもっとも硬い組織ですが酸と接触すると溶けてむし歯になってしまいます。その酸は、歯の表面にいる一部の細菌(むし歯原因菌)から私たちの食事の中の特に砂糖を栄養として産生されます。

むし歯とはその酸により歯が溶かされ長い間に歯が崩壊していく病気です。そのため、むし歯原因菌が多い人ほどむし歯になりやすくなります。

3. 食生活が左右するむし歯のリスク

むし歯原因菌は私たちが飲食するたびに酸を出すため、飲食する回数が多いほど口の中が酸性になる回数が増えることになりそれだけむし歯になる可能性が増えてしまいます。

逆に飲食する間隔があいていれば、唾液の緩衝作用によって中和されるため、むし歯に進行する可能性は低くなります。

食生活も重要な要因です。**間食(おやつ)はできる限り回数を減らし、与える時間を決めましょう。**

4. 定期的な検査とケア

歯科医院で定期的にむし歯のチェックをすることで、むし歯が悪くなってしまう前に進行を止めるためのケアを行なうことができます。最近では、初期の穴のあいていないむし歯で、きちんと管理ができている状態であれば、削って詰めることなく維持できるといわれています。

また、定期的なチェックに加えて家庭ではできない専門的なクリーニングや除菌処置を受けることも大切です。

むし歯は、歯科医院での定期的なチェックとケア、そして日常のセルフケアによって予防できる病気なのです。



今回の裏面の担当は小幡典子(左)と糸川佳代子(右)です。彼女たちスタッフも一生懸命頑張っています。



本文は「知っておきたい・むし歯のリスク」を参考にしています。

山本歯科医院 tel 0587-33-0570 fax 0587-33-0571

<http://www.ne.jp/asahi/yamamoto/shikaiin/>

